

**「港湾労働安全強調期間（7月～9月）」に発生した死亡災害（会員事業場）
－ 平成20年以降 －**

会員事業場において「港湾労働安全強調期間（7月～9月）」に死亡災害は、平成20年以降、下表のとおり発生し22人が亡くなっています（平成23年以降の死亡災害については、協会ホームページの中の「災害データ検索 version II」から、より詳細な情報を得ることができます。）。

発生日時	発生場所	年齢	雇用形態	職種	事故の型	起因物	概要	
平成20年	7月10日 (木) 21:30頃	本船 デッキ	55歳	常用	デッキマン	おぼれ	その他の仮設物、建築物、構築物等	コンテナの下部コーンを取外してからガントリークレーンのスプレッダーに乗って岸壁に降り、再び本船へ戻る途中、同僚に作業再開の指示を無線連絡した後、行方不明になった。捜索の結果、本船船首側に接岸していた他事業場の本船キヤングウェイ(昇降路)下の海面に浮いている被災者が発見された。
	7月30日 (水) 8:30頃	本船 船倉内	59歳	常用	船内作業者	はさまれ、巻き込まれ	揚貨装置	コイルを揚貨装置で船倉に積み付け作業中、被災者がダンネージの位置を直そうと先に積み付けられた3段積みコイルの上に登ろうとした際、旋回してきたコイルと3段積みコイルにはさまれた。
	8月11日 (月) 10:30頃	倉庫前 岸壁	30歳	常用	フォークリフト運転者	崩壊、倒壊	荷姿のもの	スリットコイルの内周末端がはみ出たため、フォークに掛けたまま修正しようとした際、背後からスタクションに立てかけた別のスリットコイルが被災者側に倒れ、被災者が下敷きになった。
	8月19日 (火) 13:27頃	倉庫内	39歳	常用	職員	飛来、落下	フォークリフト	木材束の間からフォークが抜けなくなったため、ずれたリン木を直している際、後方で7段に積まれた空きパレット上に木材束を載せていたフォークリフトのフォークから木材束が落下し、被災者に当たった。
	8月20日 (水) 13:30頃	構内 副棧橋	54歳	常用	クレーン運転者	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	移動式クレーンから取り外した飼料用バケットに付いた飼料を取り除く作業中、作業中と気付かないまま飼料用バケットを閉めようとフォークリフトでバケットを押したため、バケットの開口部分に被災者は首をはさまれた。
	9月1日 (月) 10:05頃	はしけ	24歳	常用	船内作業者	飛来、落下	揚貨装置	揚貨装置のカーゴワイヤが切断したため、はしけ船底から約7mの高さから、荷(ジェネレーター約314t)が、はしけの船底に落下、作業員5名が海中に投げ出され、うち4名は直後に救助されたが、被災者は6時間後に海底で発見された。
平成21年	7月30日 (木) 13:20頃	冷凍船 船倉内	58歳	日雇	船内作業者	はさまれ、巻き込まれ	天井クレーン	冷凍船の船倉で、天井ホイストクレーンで荷(冷凍鯨、約14.5t)をハッチ口まで移動する作業中、被災者がはい付けされたひな壇状の荷の上に乗る、上の荷を降ろす作業を始めた際、走行してきた天井ホイストクレーンのチェーンカパーとはい積みされた荷との間にはさまれた。
	8月5日 (水) 10:25頃	本船 ハッチ	66歳	常用	玉掛け者	おぼれ	その他の乗物	2番ハッチの原木水切り作業中、吊り荷から大きくはみ出していた1本の原木を抜き取り降ろした際、当該原木が転がり始めた。玉掛けのため、荷の原木上で待機していた被災者は当該原木を避けようとデッキ上の歯止め用鋼製スタクションのほうに逃げたが、勢い余って本船と岸壁の間から約13m下の海に墜落した。
平成22年	8月18日 (水) 18:32頃	本船 船倉内	45歳	常用	船内作業指揮者	墜落	はしご等	鉱石をばら積みした本船内で荷降ろし作業中、被災者がクレーン運転者に無線連絡後、ハッチ蓋(高さ約3.4m)からガントリークレーンのはしごを下りる際、墜落した。

平成22年	9月1日 (水) 11:15頃	本船 船倉内	60歳	常用	船内 作業者	はさま れ、巻き 込まれ	ローダー	石炭揚げ荷役終了後、船倉内から荷役に使用したショベルローダーを陸揚げするため、同僚とともにショベルローダーの玉掛作業中、被災者がバケットのセンターアームと車体にはさまれた。
平成23年	7月17日 (日) 15:45頃	接岸本船	57歳	常用	ラッシャー	墜落、 転落	荷姿の もの	接岸本船において、高さ約3.4mに積み付けた鋼管の上に登りロープで固縛する準備作業中、5段目から7段目のパイプが荷崩れを起こし、被災者がパイプとともに転落した。
平成25年	8月13日 (火) 16:20頃	本船 デッキ	48歳	日雇	作業者	はさま れ、巻き 込まれ	揚貨装置	岸壁に仮置きしていたコンテナ(40ft実入り22t)を揚貨装置でデッキのツイストコーン上に積み戻す作業中、本船の揺れと途上のスタンションで引っ掛かりが外れた反動でコンテナが振れ、被災者がオイルタンクとの間にはさまれた。
	8月28日 (水) 8:40頃	はしけ	50歳	常用	玉掛け者	はさま れ、巻き 込まれ	揚貨装置	本船揚貨装置を使い、はしけ上にあるコイル(直径約1.3m、重量約8t)2個を運搬するため玉掛けを行い、地切りしたところ、コイルが振れ、被災者がコイルとはしけ壁面の間にはさまれた。
平成26年	9月1日 (月) 15:15頃	本船 デッキ	42歳	日雇	作業者	激突され	揚貨装置	船倉から原木(長さ約12m、直径約70cm、重量約2t)を揚貨装置により荷揚げ作業中、約10本の原木をクラブバケットでつかみ巻き上げたところ、原木が回転したため、船倉上部で合図を行っていた被災者に原木の端が当たった。
平成29年	9月15日 (金) 14:10頃	倉庫土場	55歳	常用	作業 監督者	はさま れ、巻き 込まれ	フォーク リフト	荷役作業に伴うトレーラー等の車両の誘導業務を行っていた被災者が、待機中の移動式クレーンに構内へ進入するよう伝えに行った後、荷降ろしのために向きを変えようと旋回していたフォークリフトの後部と接触し、倒れたところを当該フォークリフトの後輪でひかれた。
平成30年	7月20日 (金) 8:40頃	内航船 船倉内	21歳	常用	玉掛け者	飛来、 落下	移動式 クレーン	ふ頭に接岸した内航船の船倉で、岸壁に設置したクローラークレーン(吊上げ過重150t)を用いて7本組に結束したH形鋼(1本:長さ約6m、重量約84kg)を3束にまとめて荷揚げ作業中、吊り上げていた鋼材が落下し、吊荷の下にいた被災者に当たった。
	8月15日 (水) 20:38頃	石炭船積 岸壁	60歳	常用	監視員	おぼれ	その他 の乗物	岸壁において、石炭の運搬船接岸に伴う係留作業中、被災者がヒープラインを拾おうとした際によりめいて海中に転落した。
令和元年	8月14日 (水) 12:10頃	物流ター ミナル内	44歳	常用	ストラドル キャリア 運転者	転倒	ストラド ルキャリ ヤー	ストラドルキャリアによるコンテナの運搬作業中、被災者が荷を積載していない状態でストラドルキャリアを右折しようとした際、ストラドルキャリアごと転倒した(推定)。
令和2年	8月19日 (水) 9:00頃	コンテナ 船内	29歳	常用	ラッシャー	墜落、 転落	通路	コンテナ船内のコンテナをガントリークレーンで地上に降ろす作業中、コンテナ上に残ったスタッカーを回収しようとしていた被災者がステージから約5.2m下の本船デッキに墜落した(推定)。
令和4年	7月13日 (水) 17:50頃	コンテナ 船内	52歳	常用	船内 作業者	飛来、 落下	玉掛用具	船上からフラットコンテナ(19.8t)にトレーラーシャーシ(約16.2t)を積載した荷をガントリークレーンで移動させていたところ、荷を吊っていたワイヤーの先端が外れ3点吊りになったことにより、トレーラーシャーシが落下し、被災者に当たった。
令和5年	8月30日 (水) 22:15頃	ふ頭内 バース	53歳	常用	トレー ラー運 転者	激突	トラック	被災者は、ふ頭内でコンテナを積んだトレーラーを運転中、丁字路で右折する際、曲がり切れず、正面の柱やフェンスに横転しながら激突した。
	9月14日 (木) 14:15頃	本船 船倉内	20歳	常用	運転 見習者	はさま れ、巻き 込まれ	整地・運 搬・積み 込み用機 械	被災者は、ブル・ドーザーで船倉内を移動中、山状になった飼料を乗り越えた際、操縦席から落下し、そのまま無人の当該ブル・ドーザーにひかれた。